

関東ふれあいの道 埼玉③伊豆ヶ岳を越えるみち

渡辺 真一

2019年6月9日(日) 雨 湿度高く気温低い

参加者： 高橋、鶴田、今井、鎌田、渡辺(敬称略、計5名)

コースと時間記録： 吾野駅 9:15~10:08 滝不動~10:12 浅見茶屋~10:15 降魔橋 10:25~11:05 子の権現 11:20~11:35 愛宕山~12:10 天目指峠(昼食) 12:45~13:35 高畑山~14:20 古御岳 14:30~14:55 伊豆ヶ岳 15:05~15:25 男坂・女坂分岐~15:27 五輪山~15:40 小高山~16:05 正丸峠~16:30 新旧正丸峠道分岐~16:40 集落~17:09 正丸駅(総走行記録距離:16.7km)

関東ふれあいのみち埼玉は3回目にして、ついに雨に遭うことになった。当初予定の8日は予報による雨確率が高かったため、急遽実施日を1日繰り下げたのだが結果的には裏目に。しかし8日は気温が異常に高かったので、予定通り行っていたら暑さで相当しんどかったかも知れない。9日当日は北から湿気のある寒気が入り込んで、朝から雨が降り出していて気温が一気に下がり、半袖では寒いくらいだった。



吾野駅にてカッパを着込む

吾野駅に降り立った我々は全員、上下とも雨合羽をしっかりと着込んだ。そして雨に打たれながら、長いコンクリート道を黙々と歩く。石垣にユキノシタの可憐な花が並んで見えるがゆっくり鑑賞している暇はない。そのうち雨の湿気で、顔や頭からはたまらず汗が噴き出して雨水と混じり合い手ぬぐいがぐっしょりになる程だった。歩き出してちょうど1時間で、聖が入山した際に鬼が降伏したという降魔



天目指峠の東屋にて昼食

橋に到着。汗をぬぐい、水分、糖分、塩分の補給と装備の再点検。いよいよ、急な山道を子の権現へと向かう。林の中は雨が直接あたらず、思ったよりも快適だ。標高が上がるにつれ気温も心なしか下がってくる。予定時間を短縮して子の権現に到着し、前回美味しく頂いたまんじゅうを横目に見ながら黄金のわらじのところへ。ここでゆっくり休憩をとり、愛宕山で関東ふれあいのみち埼玉②と分かれ、新たなふれあいのみち③へ向かう。



天目指峠の看板

長い道のりなので、天目指(あまめざす)峠に設けられた東屋で早めの昼食を取ることに。とにかく先が長いので、ゆっくりする暇もなくそそくさと食事を終え、再び西川材の杉・檜の



西川材の見事な杉/檜林

見事な樹林の下を歩く。以前来たときも高畑山までの長さとお急坂にあえいだ覚えがあるが、今回もこれでもかこれでもかと言うくらいきつい登りが続いた。そして高畑山に、さらに同じような登り坂をあえいでようやく古御岳（こみたけ）に到着。山頂の東屋で息を整えた。ここまで来ればあとはもう一息で念願の伊豆ヶ岳である。



古御岳山頂



古御岳の東屋

山頂の東屋で息を整えた。ここまで来ればあとはもう一息で念願の伊豆ヶ岳である。



伊豆ヶ岳山頂(カメラスポット)



山頂の三等三角点

伊豆ヶ岳山頂は15時5分前だった。雨で休み時間が少なかったこともあるが、15時という予定通りの時刻に到着できた。山頂には三等三角点が設置されているのが確認できた。雨はこの時にはほぼ止んでいたが、視界はせいぜい50mと言ったところ。この山名には伊豆まで見えるという説もあるらしいが、とても伊豆どころか麓の一部も見えなかった。伊豆ヶ岳からは迂回コースの女坂だったが、粘土質の急な下りが雨でぬかるみになっており、悲惨だった。ストックさえもつるつる滑る状況で、冷や汗をかきながらようやくの思いで男坂との分岐に到着した。男坂は落石の危険があるので立ち入らないようにと言う看板と通行止めのロープが張られていた。



いわれを書いた看板



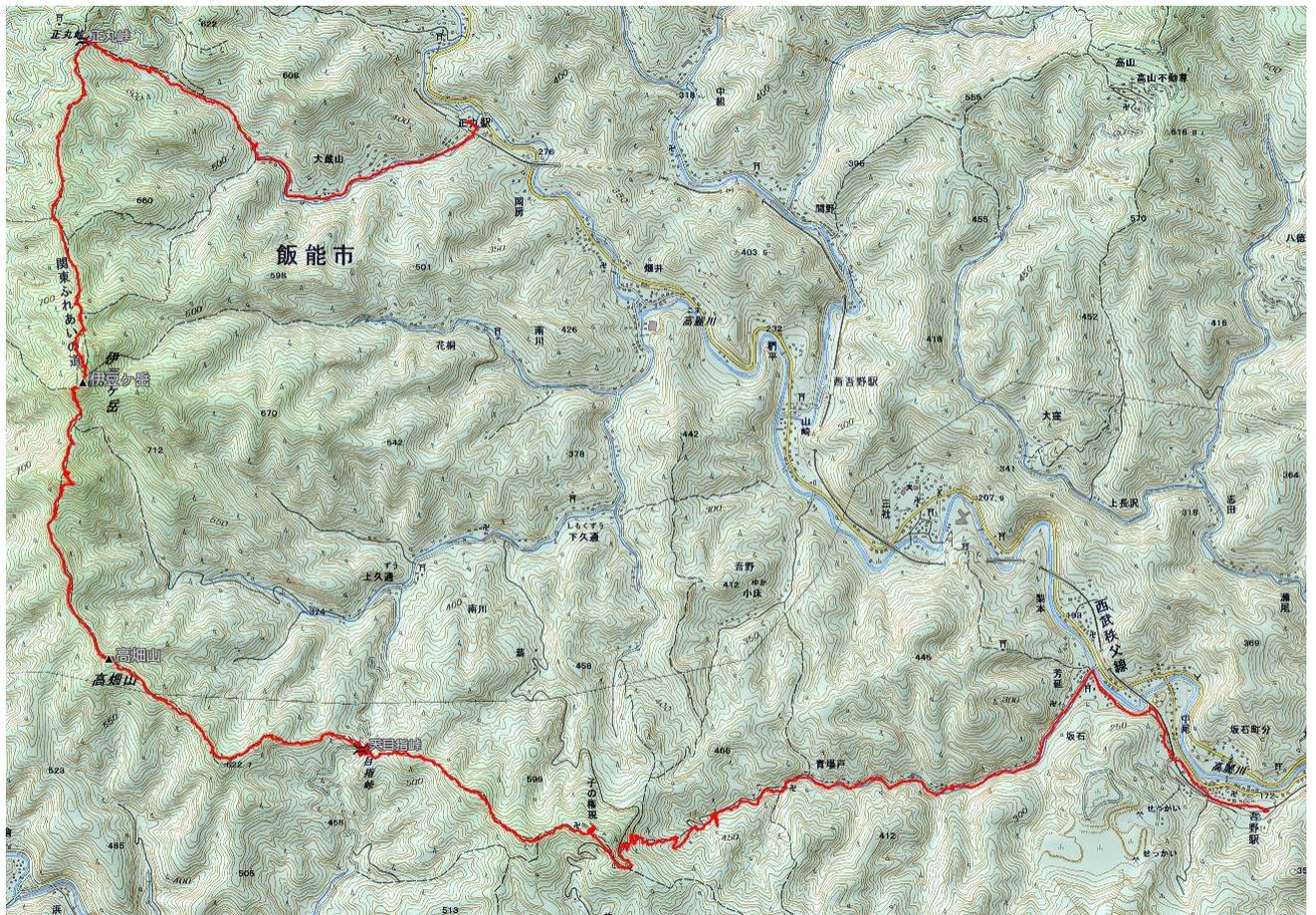
車道脇の正丸峠(新)

ここからは、今までとは打って変わってなだらかな下り道となった。途中には五輪山、小高山という看板の立っている山頂があるがほんの少しの登りで越えられた。ちょうど1時間歩いて舗装道路の脇に立つ正丸峠の看板のところに到着。再び雨が降ってきたので、急いで記念写真を撮り駅に向かう。

道路からは、急斜面のゴミ捨て場のようなところにあるに立派なステンレスの手すりが付いた狭い階段道を林に向かって下る。天候と時刻のせいで林の中は薄暗く、危ない下り道だった。30分ほどで集落のある舗装路に出てほっとした。この道をさらに30分ほど歩いて正丸駅に到着した。



前回の「奥武蔵の古刹を訪れるみち」の後半と、今回の前半となる吾野駅～子の権現（愛宕山登山口）が完全に重複しており、下りと上りという違いがあるにせよ、同じルートを通らなければならないのは少々面白くない。そして今回の後半最後の正丸峠～正丸駅も、次回の「峠の歴史をしのぶみち」の前半で正丸駅～正丸峠が重複する。ここは省略しても良いのではないかという意見もあり、また今回よりさらに長い15.6km、6時間20分の所要時間が示されていることもあり、他の手段にて重複部分は短縮することも考えてみたいと思う。





GPS 軌跡図と高度グラフ